

個別目標3-3 | 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

施策3-3-2

透明性の高い区役所をつくります



【10年後のめざす姿】

- 多くの区民が、区政に高い関心を持ち、知りたいと思う区政情報がいつでも手軽に入手できます。
- 区は、区民の多様な意見を区政に活かす仕組みを整え、活用しています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合(%)	—	30%	40%
区民意見公募手続(パブリックコメント*)に寄せられた意見数*(件)	680件	700件	750件

【現状と課題】

地方分権改革\*が進んでいく中においては、ますます自律的で区民に身近な区政が求められます。自主性・自律性に富んだ区政を展開するためには、区民の区政参画の推進のほか、情報公開をはじめとする区政の透明性\*が重要となってきます。平成20年7月に実施した「大田区政に関する世論調査」で、区政の進め方で重要なものとして、「区民参加」と回答した区民が8割、「情報公開」と回答した区民が9割を超えていることからわかります。

これまで大田区においては、「大田文化の森\*」や「エセナおおた\*」の運営のほか、「こらぼ大森\*」や「大森ふるさとの浜辺公園」、「大森 海苔のふるさと館」の開設におけるワークショップ\*の実施など、区民参画を積極的に実践してきました。平成20年度からは区民意見公募手続(パブリックコメント)を開始し、区民参画のさらなる充実を図っているところです。

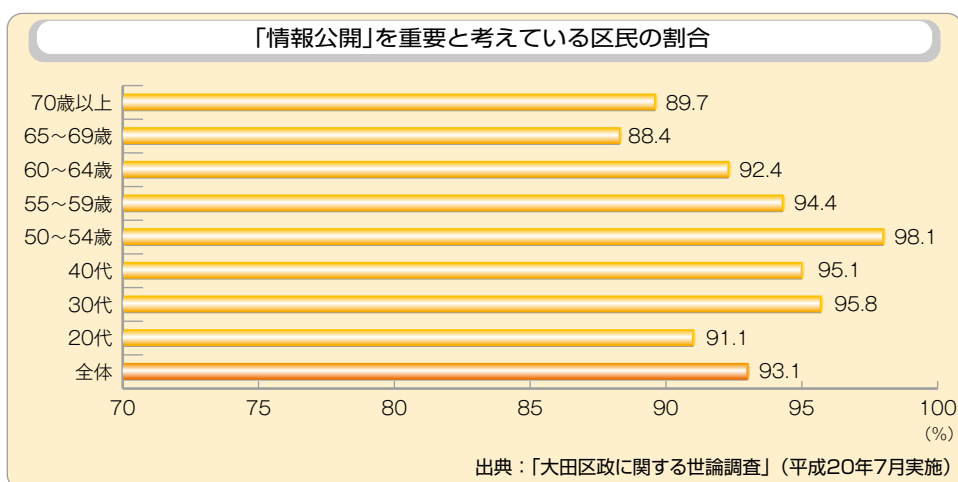
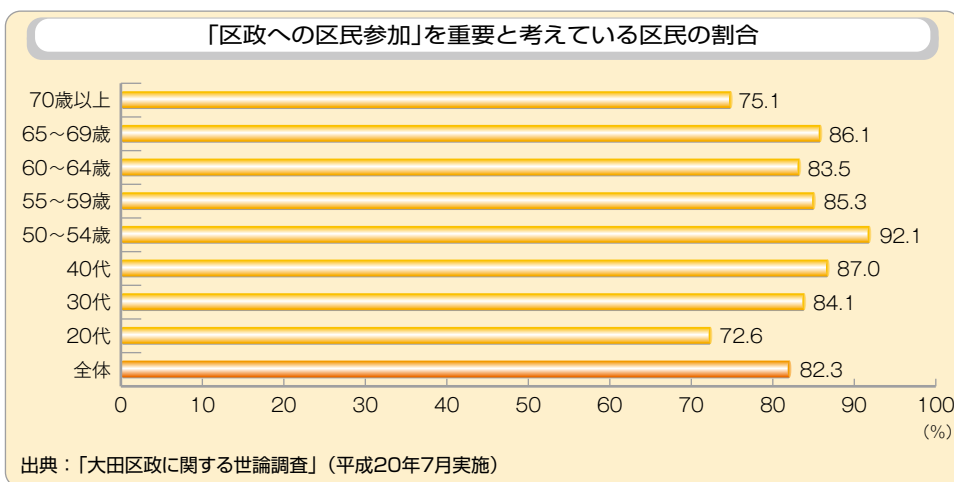
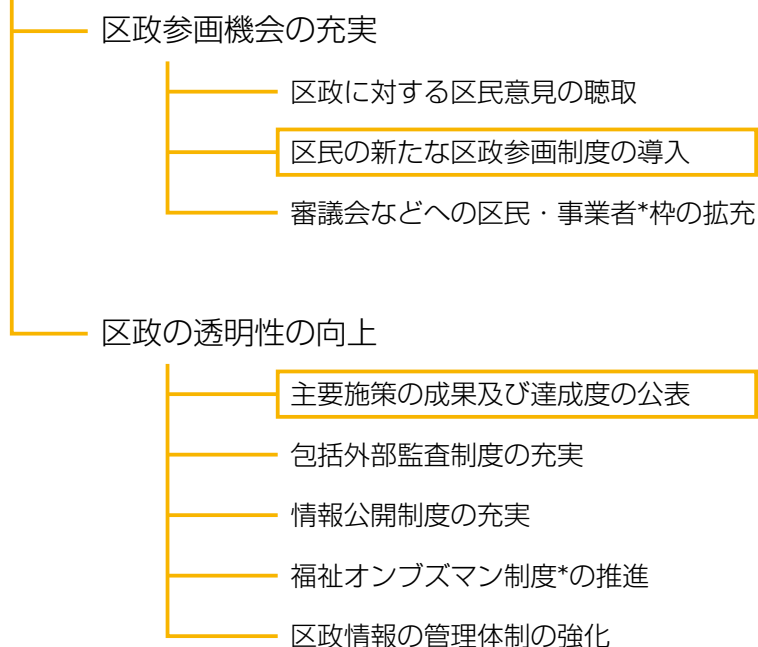
区政の透明性においては、平成17年度から実施している外部監査制度\*による監査結果の区民への公表や監査結果に基づく事業の見直しが行われています。また、情報開示請求数も高水準で推移しています。

今後は、区民の区政参画を進める仕組みづくりのさらなる充実のほか、情報公開や区的意思決定過程の透明性の確保、説明責任の徹底が求められます。より広く区民の声を聞き、区民が区政に直接参画できる機会を増やし、区民が創り育てる区政への転換が求められています。

## 【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

### 透明性の高い区役所をつくります



## 【 施策の方向性と主な事業 】

### ① 区政参画機会の充実

区民の区民による区民のための区政のさらなる推進をめざし、区民が主体的に区政に参画できるような仕組みづくりを展開します。

計画事業名	区民の新たな区政参画制度の導入						
主な取組内容	区民の区政参画を促進するために区政サポーター制度*を実施し、区政の広聴機能を拡充します。あわせて、区民提案制度を設け、区民のアイデアを区政に反映する仕組みを充実します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区政サポーター制度		検討	実施				検証
区民提案制度			検討		実施		

### ② 区政の透明性の向上

区民に信頼される透明性\*の高い区政運営を実現するために「正確、早い、わかりやすい」をめざした区政情報の発信と、区の説明責任を促進する観点からの情報提供を推進します。

また、入札制度をはじめとする透明性向上に向けた制度改革を推進します。

計画事業名	主要施策の成果及び達成度の公表						
主な取組内容	基本構想に基づき策定された基本計画の着実な実施と区政の透明性を高めることを目的に、計画に掲げられた事業の進ちょく状況を把握するとともに、主要な施策の達成目標の到達度を区民にわかりやすく公表します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
計画事業の進行管理	事業の進行・目標の管理						
	区民への公表						
新たな行政評価制度*の実施	評価方針の検討	検討					検証
	評価の実施						
	区民への公表						



大田区基本構想審議会からの答申手交式



区民と大田区基本構想審議会委員との意見交換会



羽田地区・連帯のシンボルマーク



区役所2階区政情報コーナー